



提供年月日	平成30年 3月26日
担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課

草津市文化振興計画の策定と 文化振興フォーラムの開催

文化の薫り高い“出会い”と“交流”に満ちた創造都市を目指して

文化でまちを創る…そのための「草津市文化振興計画」ができました！

草

津市では、文化振興の理念や施策を具体的に明文化し、市民の皆様と共有することで、より一層の文化振興を図るため、「草津市文化振興条例」を平成29年7月1日に施行しました。

そして、文化振興施策を総合的かつ計画的に推進するため、「草津市文化振興計画」を平成30年3月に策定しました。

本市の未来を担う子どもたちの豊かな心を育むとともに、誰もが誇りをもって、この先も住み続けたいと思えるまちを築くため、産学公民の協働によるオール草津で、文化の薫り高い“出会い”と“交流”に満ちた創造都市を目指します。

【3つの重点プロジェクト】

①次世代文化体験プロジェクト

学校や地域社会等において幼少期から文化に触れることができる機会の充実を図ります。また、子どもや若者が草津に生まれ育ってよかったと思え、市民としての誇りの礎となるような文化体験の機会を創出するための仕組みづくりに取り組みます。

②13万人の文化プロジェクト

高齢者、障害者等で文化活動に参加する環境が十分とは言えない人たちに向けた社会包摂プログラムの展開に取り組みます。また、働く世代で、普段文化に触れる機会が少ない人でも参加しやすい、魅力的な文化事業の充実に取り組みます。

③ふるさと草津の心プロジェクト

本市の文化的資産の価値を再発見、再認識することができる機会の充実に取り組みます。また、メディア芸術や食などの生活文化、景観も含め、幅広い分野から新しい魅力の創出につながるものを重点的に推進することを検討し、草津らしい個性ある文化の創造を目指します。

基本方向

- 自主性・創造性の尊重
文化活動の自主性と創造性を尊重する
- 市民文化政策の推進
誰もが等しく文化に触れることができる機会の充実を図る
- 都市文化政策の推進
文化の創造と発展を促進し、都市の魅力さをさらに高めることを目指す



草津文化の新たな幕開けを祝う文化振興フォーラムを開催！

文

文化振興条例の施行、文化振興計画の策定を記念し、フォーラムを開催します。これを機に、本市における文化振興の機運を高め、オール草津で取り組めるよう市民の意識の高揚を図ります。

草津市文化振興フォーラム

平成 30 年 5 月 13 日（日） 13:30～16:00
草津市立草津クリアホール 入場無料 事前申込不要

第 1 部 13:30～14:40

オープニング

オリジナルファンファーレ、草津歌劇団によるショートミュージカル

プレゼンテーション「私たちの草津」

橋川 渉（草津市長）

基調講演「文化でまちを創る」

中川 幾郎 氏（草津市文化振興審議会会長／帝塚山大学名誉教授）

事例報告「みんなの劇場を実現するために」

衛 紀生 氏（可児市文化創造センター館長兼劇場総監督）

第 2 部 14:50～16:00

トークセッション「地方自治体における文化政策のこれから」

【コーディネーター】

中川 幾郎 氏（草津市文化振興審議会会長）

【パネリスト】

川那邊 正（草津市教育委員会教育長）

衛 紀生 氏（可児市文化創造センター館長兼劇場総監督）

佐々木 雅幸 氏

（文化庁地域文化創生本部主任研究官／同志社大学経済学部特別客員教授）

エンディング

草津市ゆかりの音楽家が盛り上げる歓喜のフィナーレ

平成 30 年度 新規・拡大事業として「文化振興プログラム推進費」

新

規・拡大事業として、「文化振興プログラム推進費」を計上しています。
計画に基づく文化振興プログラムを実施することにより、本市における
文化振興を特徴づけ、草津らしい文化の創造を促進します。

主な経費

・草津市文化振興フォーラム開催費	717 千円	
・アートフェスタくさつ開催費	2,745 千円	
・草津シネマ塾開催費	1,344 千円	
・文化振興パンフレット作成費	301 千円	
・草津市文化振興審議会開催費	501 千円	他

アートフェスタくさつ 2018

 込田公園エリア
(クリエイターズマーケット)

 草津川跡地公園エリア
(星降る映画館)



 市役所エリア
(青少年美術展覧会)

 市役所エリア
(わくわく体験ひろば)

